

UNIVERSITY OF CAMBRIDGE INTERNATIONAL EXAMINATIONS
International General Certificate of Secondary Education

FIRST LANGUAGE JAPANESE

0507/02

Paper 2 Reading and Directed Writing

May/June 2005

2 hours 15 minutes

Candidates answer on the enclosed answer booklet.
No additional materials are required.

READ THESE INSTRUCTIONS FIRST

Write your Centre number, candidate number and name on all the work you hand in.
Write in dark blue or black pen in the spaces provided on the Answer Booklet.
Do not use staples, paper clips, highlighters, glue or correction fluid.

Answer **all** questions.

The number of marks is given in brackets [] at the end of each question or part question.
At the end of the examination, fasten all your work securely together.

受験生への諸注意

解答用紙の表紙にある指示に従いなさい。
提出物全て（解答用紙、その他）に、センター番号・受験番号・氏名を記入しなさい。
解答は、解答用紙の解答欄に記入しなさい。その際、黒または濃い青色のペンを必ず使用すること。
ホッチキス（ステープラー）やペーパークリップ、蛍光ペン、のり、および修正ペンなどの使用禁止。

受験生への補足説明

すべての問題に答えなさい。
配点は各設問の最後にある [] 内に示されています。
試験終了時には全ての提出物をまとめ、必要によっては配布されたひもなどでくくりなさい。

This document consists of 7 printed pages, 1 blank page and an inserted answer booklet.



パート1

次の【A】と【B】、二つの文章を読んで、後の問1と問2に答えなさい。

【A】

米国西海岸のシリコンバレーには1960-70年代、「産業のコメ」とも言われる^{しゅうせきかいろう}集積回路(IC)をつくる^{はんどうたい}半導体メーカーが相次いで進出した。基本材料がシリコンであったため、その町の名が付いた。80-90年代に設立されたハイテク企業は一万社以上に上る。インターネットの爆発的な普及で、1990年代から、世界各地にITベンチャー企業の集積地が誕生したが、その代表格であるシリコンバレーには、様々な国の出身者が集う。

「ペリビット」社(社員約60人)を三年前につくったアミット・シングさん(30)は、インド生まれ。高校卒業後、米国のテキサス大に留学、奨学金を得て、シリコンバレーにあるスタンフォード大の大学院に進んだ。もともとの研究テーマはDNAだった。ところが、^{ぼうだい}膨大なDNA情報から類似性を見つける手法が、ネットワーク上の“交通渋滞”解消に応用できることを発見。指導教授のついで、ベンチャーキャピタル(新しく^{おこ}興した企業に資金を提供する組織)が投資をすることが決まった。

もちろん、アイデアだけでは商売はできない。ベンチャーキャピタルが社長に送り込んだのは、英国人のジェフ・グラハムさん(47)だった。大手コンピューターメーカーの元欧州地区市場担当部長。進取的なビジネス環境を求めてシリコンバレーに移り住んで以来、他のIT企業の副社長や社長を務めてきた。

「ペリビット社」では、ほかにも、中国、ベトナム、ドイツ、フランス、アイルランドなどの老若男女が働く。日本人はいないが、日系カナダ人のロイ・ナカシマさん(47)が、ほかの企業と掛け持ちでスクリーンのデザインを担当する。「ここは国籍や人種に関係なく、世界から人が集まる特別な場所」とグラハムさん。「個人の創造性を生かせるネットワークがある」とシングさん。シリコンバレーでは、雨後の^{たけのこ}筍のようにベンチャー企業が誕生したものの、過剰な投資のあおりで2000年にITバブルが崩壊。新しいベンチャーの数は激減した。厳しい環境の下で船出した「ペリビット」社だが、グラハムさんは「必要なモノを必要とされる場所に売る戦略さえあればビジネスはできる」と自信を見せている。

読売新聞 経済部 金田浩幸、シリコンバレー支局 館林牧子 本文より引用

<http://www.yomiuri.co.jp/nie>

[B]

ITは生活を便利にするだけではない。コンピューターウイルスを送ってネットの機能を麻痺させたり、政府機関や企業のコンピューターに不正に侵入してデータを勝手に書き直したり、といったサイバー犯罪が後を絶たない。2003年1月下旬にも、新種のコンピューターウイルスが、世界的な規模で被害をもたらした。

企業などのコンピューターへの不正な侵入を監視している民間のセキュリティー（安全管理）会社が、日本にも10社ほどある。その一つ、東京・新橋の「ラック社」では、最初のウイルス感染が起きてから3分後に、インターネットの通信量が急激に増えたのに気づき、警告情報を流した。

「すぐ新種のウイルスとわかった」と同社の西本逸郎さん。これだけ急激な増加は過去に例がなかったからだ。今回のウイルスは、システムの抜け穴から入り込み、自身の複製をネットに大量に放つ。抜け穴の存在は2002年7月にはわかっており、日本では対策を講じていたが、そうでなかった国ではインターネットが一時利用不能になった。

世界中とつながっているインターネットは、一国の対策だけでは守れない。そこで「サイバー犯罪条約」に世界三十五か国が署名し、日本でも、不正アクセス禁止法が2000年に施行された。ウイルスの作製や所持を禁じる法律が近々、成立する見通しだ。

警察庁は、精鋭の技術者によるハイテク犯罪捜査の支援チーム「サイバーフォース」を全国九か所に配置し、ネットワークの通信監視や弱点の発見など、研究開発にあたっている。

ハイテク犯罪では、犯人は自分の姿を見せない。インターネット上のオークションにウソの出品をして代金を振り込ませたり、喫茶店のパソコンに仕掛けをほどこして、他人が打ち込んだ銀行口座と暗証番号を盗み出したり。出会い系サイトをめぐる殺人事件のように、気軽に応じた行為が重大な結果を招く。

警察庁生活安全企画課の立先正夫さんは、「被害者、加害者ともに未成年が多いのも特徴。新しいメディアの陰の部分もきちんと知ってほしい」と呼びかけている。

読売新聞 科学部 吉田典之 2003年8月より引用

<http://www.yomiuri.co.jp/nie>

問1 あなたが【B】の立先正夫さんたつきまさおだったら、【A】のジェフ・グラハムさんの考え方をどう思いますか。二人の考え方を比較しながら、意見を400字程度にまとめて書きなさい。

[20]

問2 【A】の「ペリビット社」か、【B】の「ラック社」に宛てて、見学を希望するという内容で依頼の手紙を書きなさい。その際、見学したい理由や日時などを述べ、日本語の手紙にふさわしい書式や敬語表現を使って300字程度で簡潔にまとめなさい。

[20]

問 次の 13－17 の下線で示された言葉について、それぞれの類義語を書きなさい。

(例:安全－無事)

- 13 病気になってからあわてるよりも、平生の心がけが大切だ。
- 14 これは、書いた人の真心が文面から伝わって来るような手紙だ。
- 15 あの問題もやっと解決しましたから、どうぞご心配なく。
- 16 名目だけで実質が伴わないと信用を失いますよ。
- 17 妹は子供の時から活発で友だちも多い。 [5]

問 次の 18－22 の下線の単語の品詞名を下から選んで記号で答えなさい。

18 やはり 19 あなた 20 も 21 あの 22 静かな 村を ^{なつ}懐かしく思っていらっしゃるのですね。

- | | | | | | | | |
|---|-----|---|----|---|-----|---|------|
| ア | 形容詞 | イ | 助詞 | ウ | 動詞 | エ | 形容動詞 |
| オ | 名詞 | カ | 副詞 | キ | 代名詞 | ク | 連体詞 |

[5]

Copyright Acknowledgements:

Section A Article by staff writers Jun Satoh, Hiroyuki Kaneda, Makiko Tatebayashi and Noriyuki Yoshida from The Yomiuri Shimbun, April 23, 2003.
Copyright © The Yomiuri Shimbun. Reprinted with permission.

Permission to reproduce items where third-party owned material protected by copyright is included has been sought and cleared where possible. Every reasonable effort has been made by the publisher (UCLES) to trace copyright holders, but if any items requiring clearance have unwittingly been included, the publisher will be pleased to make amends at the earliest possible opportunity.

University of Cambridge International Examinations is part of the University of Cambridge Local Examinations Syndicate (UCLES), which is itself a department of the University of Cambridge.

Centre Number	Candidate Number	Name
---------------	------------------	------

UNIVERSITY OF CAMBRIDGE INTERNATIONAL EXAMINATIONS
International General Certificate of Secondary Education

FIRST LANGUAGE JAPANESE **0507/02**

Paper 2 Reading and Directed Writing
ANSWER BOOKLET

May/June 2005
2 hours 15 minutes

Candidates answer on the enclosed answer booklet.
No additional materials are required.

READ THESE INSTRUCTIONS FIRST

Write your name, Centre number and candidate number in the spaces at the top of this page.
Answer **all** questions.
Write your answers in the spaces provided in this answer booklet.

For Examiner's Use	
Part 1	
Part 2	
Total	

【ペーパー2/解答用紙】 No.1 ● パート1 問1
1 (横書きしなさい)

	5	10	15	20	
					5
					10
					15
					20

(414)

【ペーパー2/解答用紙】 No.3 ● **パート2**

3	4	5	6	7

/ 5

8	9	10	11	12

/ 5

13	14	15	16	17

/ 5

18	
19	
20	
21	
22	

/ 5